

自然と共生する、快適な住環境のまちづくり

自然と共生する、快適な住環境を形成していくため、地域の骨格を形成する土地利用や道路などの社会基盤の整備をはじめ、環境保全、安全対策などの生活環境整備に取り組んでいきます。

施策(1) 自然環境の保全と活用

①治山・治水

■農地防災ダムの管理

担当：土木林業課
事業費：4,081万円

県の委託で、安代防災ダム群（荒沢1号・2号・3号ダム、根石ダムなど）を維持管理します。



■河川の維持管理

担当：建設課、土木林業課
事業費：452万円

大雨などによる浸食の著しい小河川などの維持修繕や障害物除去などを行います。



②資源エネルギー

■地熱発電の事業化を働き掛け

担当：地域振興課
事業費：137万円

松尾地区の明治百年記念公園内に完成した小水力発電所や松川地熱発電所などを組み合わせ、小・中学生の環境学習の場とします。八幡平御在所地区で調査検討をしている地熱発電の事業化に向け取り組むなど、「豊かな自然エネルギー供給のまち 八幡平市」の全国発信に努めます。



■住宅用太陽光発電システムの促進

担当：地域振興課
事業費：200万円

市民が設置する住宅用太陽光発電システムのうち、国の補助金交付決定がされているものにかさ上げで補助します。（住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金＝新規事業。1㎡当たり3万円が10万円が上限）

施策(2) 社会基盤の整備

①道路

■国道282号西根バイパスの整備

担当：岩手県、建設課
事業費：1億6,989万円

市総合運動公園までの整備済み約1.0km区間は、3月16日に使用が開始されました。未完成区間4.7kmのうち、用地補償の終了した区間約1.6kmの改良工事を実施する旨、県から伺っています。用地などでは、現在未契約となっている数人の地権者から同意をいただけるよう、県と一体となり、引き続き積極的な取り組みを実施します。

なお、用地補償業務については、県から委託を受け市が実施します。（25年度まで）



■市道の新設改良

担当：建設課
事業費：8億5,425万円

道路の新設改良などを、次のとおり行います。

- ・市道日影山蟹沢線（改良舗装280㎡ほか）
- ・市道堀切線赤川橋橋梁（橋梁下部工事2基ほか）
- ・市道山子沢線（用地取得ほか）
- ・市道大更中央線（用地取得ほか）
- ・市道中田野駄森線（改良舗装620㎡ほか）
- ・市道牧野線（改良舗装200㎡）
- ・市道八幡平温泉郷幹線（改良舗装230㎡）
- ・市道下愛宕線七時雨橋橋梁整備（耐震補強）
- ・県道焼走り線（改良舗装230㎡ほか）
- ・市道共新住宅線（改良舗装127㎡ほか）
- ・市道堀切東線（用地測量）
- ・市道松森山後谷地線（測量設計用地調査）
- ・市道北切線（用地取得ほか）
- ・市道いこいの村線外2（改良舗装330㎡ほか）
- ・大更駅前広場整備（駅西口駅前広場実施設計）
- ・市道交通広場線（改良工事116㎡ほか）
- ・市道森子支線（改良工事234.3㎡ほか）
- ・市道南北線（改良工事235㎡ほか）
- ・市道永持1号線（改良工事210㎡ほか）

他路線は緊急度や利用状況を踏まえ適切に対応

■市道の維持補修と除雪

担当：建設課、土木林業課
事業費：4億3,413万円



市道の補修などを行うとともに、道路維持作業の車両管理を行います。除雪は、地区の実情に応じた体制で行うとともに、想定外の降雪に対する危機管理対策の検証も行っていきます。

また、老朽化した前森地区の除雪機械格納庫を建て替えるほか（342万円）、除雪ドーザと小型ロータリ各1台を購入します（3,300万円）。

■県道の維持管理

担当：建設課
事業費：5,239万円

平成19年度から権限移譲された県道6路線（柏台松尾線、田山停車場線、大更停車場線、荒屋新町停車場線、田代平西根線、焼走り線。総延長約29.5km）について、除雪などの管理を行います。

②上水道

■水道給水区域の拡張

水道事業会計

担当：上水道課
事業費：1億1,400万円

小屋の沢水源を活用した事業に着手し、順次、配水池の建設にも取り組んでいきます。また、今後、安定した給水を確保するためにも、経営の確立を重視しながら料金改定に取り組んでいきます。

■簡易水道施設の更新

担当：上水道課
事業費：1,100万円

道路改良などに伴う布設替工事や、施設監視システム更新のための実施設計を行います。

③下水道

■公共下水道施設の整備

公共下水道事業特別会計

担当：下水道課

事業費：2億6,111万円

公共下水道整備事業として、両沼（大更）と平館高校付近の管渠整備などに取り組みます。



■農業集落排水事業

農業集落排水事業特別会計

担当：下水道課

事業費：1億8,379万円

時森地区の管渠整備と、松尾地区農業集落排水処理施設の機能強化事業を実施します。

■浄化槽

浄化槽事業特別会計

担当：下水道課

事業費：4,098万円

公共下水道事業と農業集落排水事業以外の区域を、市が設置して管理を行う浄化槽市町村整備推進事業で引き続き取り組みます。



④宅地・住宅

■市営住宅

担当：建設課、土木林業課

事業費：7,773万円



市営住宅386戸のうち、耐用年限を経過した住宅が過半数を占めることから、これらの適正な管理運営を行うとともに、長寿命化対策として、市営柏台第一住宅2棟について、屋根外壁改修工事を実施します。

また、耐用年数が経過し、老朽化が著しい仲町住宅の建て替えを進めるため、設計を行います。

■民間住宅

担当：建設課

事業費：2,150万円



住宅の耐震化を促進するため、引き続き民間木造住宅の耐震診断と耐震改修を進めます。

また、居住環境の向上や、地域経済の活性化を図るため、50万円以上の住宅リフォーム事業に対し、八幡平市共通商品券により、事業費の5分の1（最大20万円）の助成を引き続き実施します。

なお、住宅マスタープランで掲げる住宅関連産業の支援と住宅産業における地産地消の促進、移住による定住の促進を図るため、新たに木造住宅の新築または10平方メートル以上の増改築を行い、工事費が100万円を超える場合に50万円を上限として助成を行うとともに、さらに55平方メートル以上の新築または増改築で市産材を使用した場合には、1立方メートル当たり2万円を加算助成します。

⑤公共交通

■コミュニティバスの運行

担当：地域振興課

事業費：5,538万円



高齢者などの移動手段の確保を図るため、安代地区コミュニティバスの運行を継続するとともに、23年4月から試験運行していた西根、松尾地区でも、24年4月1日から本格運行を開始しました。

■通学定期補助

担当：地域振興課

事業費：361万円

子育て期の家庭の経済的負担を軽減するため、公共交通機関を利用して高校などに通学する生徒の通学定期購入費の一部助成（通学定期購入費の7割の額）を行います。



⑥情報

■地上デジタルテレビ放送

担当：総務課

東日本大震災でアナログ放送が延長されていた岩手など3県が、4月1日から地上デジタル放送に完全移行しました。新たに発生する難視聴地域を解消するため、関係機関と協力して地上系受信対策の促進や市民相談に応じます。

■ブロードバンド基盤整備

担当：総務課

事業費：7万円

市内全NTT局はADSL化されていますが、NTT局から遠距離地域はADSLサービスが利用できない状況なので、情報通信の地域格差是正に努めます。24年度は、NTT安代交換局内エリアに民設民営光ブロードバンド基盤整備を促すため、光回線加入者の需要喚起や加入促進を支援し、光ブロードバンド化の早期実現を図ります。

⑦都市計画・土地利用

■都市計画

担当：建設課

事業費：1,043万円

大更駅周辺および隣接地域のまちづくり環境整備基本計画に基づき、24年度から事業展開を行います。都市計画道路大更駅前線の整備については、関係者との話し合いを通して検討するほか、関連のある大更駅前広場について実施設計を行います。



施策(3) 生活環境の整備

①環境衛生

■最終処分場の建設

担当：市民課
事業費：5億6,325万円

新しい最終処分場は、平成24年度内の完成予定となっていますので、今後の管理運営について、協議を進めていきます。

■一般廃棄物の処理

担当：市民課、清掃センター
事業費：2億4,928万円

市内から発生する一般廃棄物を清掃センターで処理します。

■東日本大震災のがれき焼却

担当：市民課、清掃センター
事業費：4,198万円

県内沿岸被災地のガレキ焼却処理の受け入れを行い、復興を支援します。



■廃棄物の減量化とリサイクル

担当：市民課
事業費：1億995万円

一般家庭用ごみの分別収集による資源ごみの再資源化などを促進し、ごみ減量化とリサイクルの推進による循環型社会構築に努めます。また、地域のごみ収集場所整備に補助を行います。

■市斎場の運営

担当：市民課
事業費：2,421万円

民間の専門性や効率性が発揮され、市民サービスの向上、経費の縮減、行政運営の効率化を図るため、包括的な管理運営方式を導入し、本年4月1日から民間委託を行いました。

②公園・緑地

■市内公園、河川公園の維持管理

担当：建設課、土木林業課
事業費：637万円

次の公園や河川公園の維持管理を行います。
田頭館山公園、山崎堀切地区河川公園、涼川河川公園、平館まちかど公園、松川河川公園、妻の神公園キャンプ場、川原河川公園、小柳田河川公園、五日市河川公園、米白河川公園



③公害防止

■放射線量など監視対策の強化

担当：市民課
事業費：1,023万円

福島第一原子力発電所事故による放射線対策として、保育所や学校など19カ所の空間放射線量の測定を継続して行うほか、県からの権限移譲により、東北自動車道沿線など10カ所の騒音測定を実施します。さらに、油漏れ事故発生時の水質汚濁対策などを実施し、生活環境保全に努めます。



④交通安全

■交通安全活動の推進

担当：市民課
事業費：1,347万円

前年と比較し、交通事故件数は減少傾向にあるものの、死亡事故が発生するなど、依然として予断を許さない状況にあります。そのため、なお一層の交通安全対策に努めるとともに、高齢者に対して交通安全対策を講じます。



■交通安全施設整備事業

担当：市民課
事業費：40万円

道路の危険箇所などの把握に努め、関係機関へ改善を要望するとともに、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設整備に努めます。

⑤犯罪防止

■地域安全活動の推進

担当：市民課
事業費：1,006万円



犯罪のない安心・安全な地域をつくるため、防犯隊など関係機関と連携し、啓発活動などに取り組みます。また、集落内の防犯灯設置補助や市が管理する防犯灯の維持管理を行います。

⑥消防・防災

■常備消防活動

担当：総務課
事業費：5億6,564万円

八幡平消防署の運営のため、盛岡地区広域消防組合に対し、運営管理費を支出します。

■非常備消防活動

担当：総務課
事業費：1億785万円



火災予防思想の高揚と防火意識を喚起するため、火災予防運動期間を中心に、予防活動を実施します。また、消防団員の士気高揚と技量向上を図るため、消防演習や消防訓練大会などを開催します。

■消防施設の整備

担当：総務課
事業費：7,790万円

消防団施設や車両の維持管理を行うとともに、老朽化した消防車両の更新などを行います。

■災害対策

担当：総務課
事業費：3,920万円

東日本大震災での教訓を踏まえ、早期に新たな「地域防災計画」を策定するとともに、防災意識の高揚や防災体制の強化に向けた取り組みを積極的に推進し、地域防災の要となる消防団や関係機関、団体との地域連携により防災力の向上を図ります。また、引き続き被災地支援に努めます。

■水防

担当：総務課
事業費：112万円

水害時の対応への技量向上のため、関係機関と合同で北上川上流盛岡地区水防訓練を行います。